

第5期

日立アート

わくわく少年団

平成29年度

くりえいと

創設5周年記念号

NO. 5

ART WAKUWAKU

2013-2018



© 2013 HAW

このマークは、日立を象徴する桜とゾウを素材に生かした「日立アートわくわく少年団」のシンボルマークです。ゾウが絵筆をハナで持ち、わくわくしながら桜色で丸(円)を描いている様子をデザインしています。桜色の円は、アート(art)のaを見立てながら、風を形にしたものです。日立から新しい風としてアート(文化・芸術)の発信を心情にしなが、見えないものを形にできる創造する力、またゾウの大きな目はしっかり見つめることのできる鑑賞する力、伝える力の育成を願ったデザインです。

日立市長 小川 春樹

この度、「日立アートわくわく少年団」が発足5周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。日立アートわくわく少年団の皆さんは、月1回の活動、そしてアーティストの先生方や仲間との出会いを通して、日々感性を磨かれており、皆さんのアートに対する熱意には、心から敬意を表する次第です。また、先般は、日立市角記念市民ギャラリーでの「第5回 ひたちアートわくわく展覧会」に、1年間の活動の成果である数多くの素晴らしい作品を展示していただき、誠にありがとうございました。今後とも、本市の文化・芸術振興に、なお一層のお力添えを賜りますことを心から期待しています。結びに、「日立アートわくわく少年団」のますますの御発展と、団員の皆さんの御活躍を心からお祈り申し上げます。

日立市教育委員会 教育長 中山 俊恵

この度、「日立アートわくわく少年団」が発足してから5周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。「みる・つくる・伝える」をコンセプトに活動されている「日立アートわくわく少年団」の皆さんは、プロのアーティストの先生方等の指導のもと、学校では知ることができない美術に関する様々な技術やひらめきを生かして作品制作に取り組み、素晴らしい展覧会が開催されましたことは誠に喜ばしく、また、たのもしくも感じました。これからも、今回の作品に込めた思いを大切に様々な人との出会いや体験を通して、豊かな心を育み、ものを作る楽しさなどを感じてほしいと思います。後藤団長をはじめ、関係者の皆様のこれまでの御支援・御協力に、厚くお礼申し上げますとともに、「日立アートわくわく少年団」のますますの御発展と、団員の皆さんの御活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

日立アートわくわく少年団が創設5周年となり記念の展覧会が実施され、子どもたちの自由な発想や表現に感動いたしました。後藤団長を始め大勢のスタッフや先生方の緻密な努力の賜に敬意と感謝を申し上げます。「作る」ことは、実物を目の前で見て感じたものを描き表すことであり観察力も深まり、美的感受性を育てる原動力になると思います。益々のご発展をご祈念申し上げます。
北沢 計 (日展・日洋会委員)



この度は日立アートわくわく少年団結成5周年誠にありがとうございます。東日本大震災後ガラスが壊れ余震におびえる不安な時期、子供達への復興支援として、万華鏡やクリスマスオーナメント、硝子皿製作の講師を3期務めました。アートに興味のある子供達ですから作品は目を見張る素晴らしいものばかりで、その時間を共有出来た事で元気をいただきました。心豊かに芸術に触れる日立市初のアート少年団の更なる飛躍を今後も応援したいと思います。
大久保 重美 (ステンドグラス1級技能工芸士)

顔料(がなりょう)で自由にのびのびと描いた子供たちのTシャツは、世界でたったひとつのオリジナルアートへと見事に変貌(へんぼう)を遂(と)げました。子どもたちのワクワクは部屋中に広がり、お母さんたちも目をキラキラさせながら描き始め、笑顔があふれ温かい雰囲気になりました。「楽しかったー」と心から思いました。これからも豊かな感性を育てていってください。
野澤 寿子 (染織工房「のざわ」)



今回で4度目の陶芸教室で、団員の皆様もしっかりした意図をもって制作していたと思います。工芸は素材、制作方法、完成後の用途など、千差万別ものがあります。土という素材の可塑性(かそせい)を十分に生かして作品を完成させるのは難しいものがありますが、そういった制作の入口で、団員の皆様の明日につながる興味となりましたら素晴らしいことだと思います。
前野 善樹 (日展・日本新工芸家連盟会員)

皆さん、凧作りは楽しかったでしょうか？でも、凧は作るより揚げて“遊ぶ”ことが純粋に楽しいよ。空に浮いている姿を思い描き苦労して作った凧を自分の手から大空に放つ、しかし、思った通りには揚がらない。ここから楽しいんだ。急に強くなったり、突然止んだりする気ままな風に翻弄(ほんろう)される。凧の紙が破れたり、ホネが折れたりする時もある。(風、いや自然は人間の思い通りにならないことを初めて思い知らされる。)この時、誰かがいると本当に心強い。糸目糸の位置を調整したり、尻尾の長さを変えたり、友達の手伝い作業はいくらでもある。凧揚げてより良い友達関係を得たり、協力しあったり、迷惑をかけたことを素直に謝ったり、許しあったり、凧を揚げようとする努力、凧が揚った満足感、凧揚げにはこんな楽しみもあるんだよ。
本田 勝則 (八つ凧保存会長)



作家からのメッセージ artist message



最初は戸惑っていた様子の皆さんが、作業が進むにつれて少しずつ自分の「こうしたい!」を見つけて表現する姿や、出来上がった作品を前に誇らしい表情をしている姿を見て、私もとてもわくわくしました。出来上がった作品からも個性を感じて楽しかったです。また、お母さん方の飛び入りの参加もあり、子どもさんたちに負けないキラキラの目で、制作されていました。素敵な時間を皆さんと共有できたこと、ありがとうございました。
ミウラ ナオコ /02 16:42 (イラストレーター・茨城国体いばラッキーの作者)

アート5年、そして10年。
感謝の心を深く刻んで。

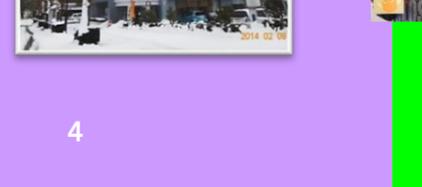
団長 後藤 弘文

5年前（平成25年）の春に産声をあげた「日立アートわくわく少年団」は、画塾ではなく公的にアート活動を支援している全国的にも珍しい少年団です。茨城県天心記念五浦美術館に勤めた鈴木利昭さんと私は夢の実現に向け模索します。お手本がなくゼロからの出発だからです。大きな課題となる事務局の設置では公的機関に相談するも理解が得られず足踏み状態が続きます。東日本大震災（平成23年）に遭遇し日本列島に閉塞感が漂う中で、ピンチをチャンスにしたのは藤原智子・根本正幸両氏が事務局を引き受けてくれたことでした。「子どもたちの未来のために」を合言葉に、茨城県「TOT（優秀教職員）」としてアート教育に寄せる熱い思いのある飛田祥子さんが参加し「三人寄れば文殊の智慧」として勢いづきました。

願いはネーミングに込められています。世界のHITACHIの発祥の地・日立からの発信を強く意識しました。「わくわく」は最も大切なキーワードです。鮮度が高く楽しく面白いことを使命感としています。これまで「みる・つくる・伝える」をコンセプトに、芸術鑑賞・ガラス工芸・陶芸・染織など学校ではできないアート活動を展開してきました。これを可能にしてきたのは、保護者と子どもたち、作家と教員を中心とする少年団サポーターの存在です。アートを愛する熱い思いと子どもの豊かな発想のきらめきに感動し献身的な心に支えられています。改めて皆様の温かなご支援に深く感謝いたします。子どもたちは10年を過ぎるとあつという間に大人になります。小さいころの出会いは一生の宝モノです。世界的な建築家・妹島和世氏を継ぐアーティストを夢見て、次の5年に向け新たな一歩をまた踏み出そうと思います。



平成25年



平成26年



平成27年



平成28年



**日立市郷土博物館
茨城県近代美術館移動展
近現代茨城の美術**
4月29日(土)～6月18日(日)



この少年団は2年目でだんだんとなれてきました。一番楽しかった活動は、ミウラナオコさんの絵のようなものをかく活動です。オオカミや魚の絵をかき、思い通りの絵をかくことができました。Tシャツは洗たくしているみたいにかざると、違うふんいきができました。
大沼小学校4年：後藤

いろいろな分野の芸術家の方たちからご指導いただき、とても貴重な経験をさせていただきました。毎回準備、指導して下さる先生方にも感謝いたします。ありがとうございました。

ほかはこの1年間少ししか行けなかったのですが、来年はもっと行きたいです。
会瀬小学校3年：高橋

今年のアートわくわく少年団の活動は、他の少年団と重なってしまいうことが多く、参加できない活動があり残念なことをしてしまいました。作品づくりは形に残るものが多く良い思い出づくりになりました。



みんなの作品を見てきれいだなあと思ったりすごいなあと思ったりする作品がたくさんありました。みんな自分だけのすごいところがあったんです。自分の作品を見たり、作ったりするだけでなく、人の作品を見るのもいいなあと思いました。
大久保小学校4年：ブラウス

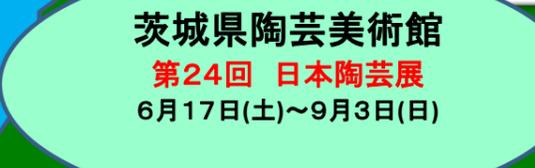
他の行事と重なって欠席が多くなってしまいましたが、どの回も「行ってよかった！」と言っていたので本人も楽しんでいただけたと思います。1年間ありがとうございました。

私はこの1年間にたくさんのことを学びました。見る力、作る力、伝える力はこれからの生活の中で、必ず生かせると思います。作品を作るのはもちろん友達作品を見るのも楽しかったです。
金沢小学校5年：佐藤

ここでしか経験できないことがたくさんあったので、親としても入団させてよかったと思えました。毎年同じでないので、あきることなく続けられたと思います。会場が日立近くだとより一層楽しいです。2年間ありがとうございました。



**茨城県陶芸美術館
第24回 日本陶芸展**
6月17日(土)～9月3日(日)



**茨城県天心記念五浦美術館
開館20周年記念
龍を描くー天地の気**
10月25日(水)～11月26日(日)



1年間を振り返っているいろいろなことがたくさんありました。自分の思うように完成した時や上手くいかないときもありましたが、楽しくできたのでよかったです。初めて会った人もいてきんちょうしましたが、話しかけてくださったのでうれしかったです。また、この経験を学校などで活用していきたいです。
成沢小学校4年：川上

沢山の素晴らしい先生方はじめ、スタッフ皆様温かく見守られ、学校では出来ない経験をする事が出来て、今までどちらかという得意分野では無かったはずの絵等を描く事が活動を通してとても楽しくなり参加させて頂きました。とても感謝いたします。ありがとうございました。一緒に活動しているお友達との素敵な作品を観ることで、更にやってみようという気持ちにもなりました。

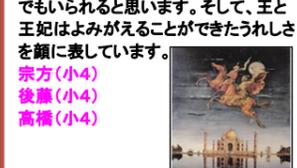
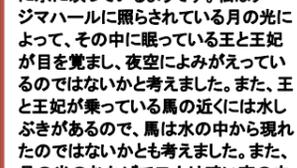
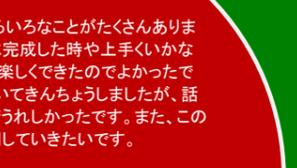
わくわくアートで一番楽しかった活動は、フレームづくりです。理由はミウラナオコさんに会えてうれしかったのと、いろいろな色でいろいろな顔をかくの楽しかったからです。
宮田小学校3年：平子

我が家では姉と弟がお世話になっております。なかなか体験できない活動をする事で、子どもたちは色々なことに好奇心と興味を持ち、創造力を培うことができたようになつたと思います。また、作品を見て、自分の感じたことを言葉に表し、伝える力もついたのでと思います。コミュニケーション能力が問われる現代、どうしたらうまく伝えることができるかを考えられるようになったのは、子供たちにとって大きな財産となりました。2人共、わくわくアートの活動を通して、大きく成長できたこと、とても感謝しております。この経験を活かしてこれからもたくさんのことを学んでいってほしいと思います。ありがとうございました。



わたしが一番楽しかったのはTシャツに絵をかいたことです。その理由は2つあります。ひとつ目は自分の好きな絵をかいたことです。わたしはリンゴをかきました。後ろがわには青リンゴをかきました。赤と緑がならぶとめだってきれいだったからです
大久保小学校4年：ブラウス

他の行事と重なって欠席が多くなってしまいましたが、参加できた日はどれも楽しんで活動していたように思います。アーティストの先生方とのふれあいが貴重で、きっとよい経験になったと思います。1年間ありがとうございました。



作品名：タージマハールの月
制作年：1976年
年齢：角浩67歳

水に映っているタージマハールは本当に水に映っているようです。私はタージマハールに照らされている月の光によって、その中に眠っている王と王妃が目覚まし、夜空によみがえっているのではないかと考えました。また、王と王妃が乗っている馬の近くには水しぶきがあるので、馬は水の中から現れたのではないかと考えました。また、月の光のおかげで二人は暗い夜の中でもいられると思います。そして、王と王妃はよみがえることができたうれしさを顔に表しています。

- 宗方(小4)
- 後藤(小4)
- 高橋(小4)



⑫0310・11
第9回ひたちこども芸術祭
日立シビックセンター



5th

⑪5周年記念わくわく展覧会
0211/角作品ギャラリートーク
0218/ギャラリートーク
澤俊子琴合奏団プチコンサート
卒団式
日立市角記念市民ギャラリー



⑩0120/展覧会準備
日立市角記念市民ギャラリー



⑨1209/伝統能代凧
茨城県県北生涯学習センター



①0429/入団式
名札カード・缶バッジ
茨城県県北生涯学習センター



②0528/消しゴムスタンプアート
日立市女性センター



創設5周年記念
日立アートわくわく少年団
ART WAKUWAKU
平成29年度活動



●みる ●つくる ●伝える



(五十音順)

- 大内
- 大久保
- 大森
- 大森
- 木内
- 北沢
- 木村
- 小田部
- 後藤
- 近藤
- 坂本
- 白川
- 鈴木
- 鈴木
- 武石
- 飛田
- 根本
- 野澤
- 日野
- 檜山
- 橋本
- 平根
- 藤原
- 本田
- 前野
- 増田
- 宮本
- 三代
- 村木
- 野内
- 横山
- 吉成

⑧1118/龍を描く
開館20周年
茨城県天心記念五浦美術館



⑦1021/もの入れ陶芸
茨城県県北生涯学習センター



③0617/近現代茨城の美術
茨城県近代美術館移動展
日立市郷土博物館



④0729/イラスト
茨城県県北生涯学習センター



⑤0819/日本陶芸展
茨城県陶芸美術館



⑥0924/染織
茨城県県北生涯学習センター



●つくる

1年間の活動は野球で参加できないこともありましたが、たくさん作品を作ることができました。来年は中学に入学するので今年は特に気持ちを込めて制作しました。今までに作った作品を大事にしてアートわくわく少年団のことを忘れずに中学校生活を頑張りたいと思います。
助川小学校6年：江淵

野澤先生は毎年様々な染物の魅力を教えてくれるので楽しかったです。羊毛フェルト、レジン工作、シルクスクリーン版画などをやってみました。今年も大変お世話になりました。
助川小学校4年：金田

日立アートわくわく少年団では、いろいろな作品を作ることができて良かったです。有名な先生に教えてもらえて、とても勉強になりました。4年生になってもつづきたいです。
楯形小学校3年：小池

1年間とてもお世話になりました。図工が大好きな子なのですぐらしさが発揮できるのではないかと入団しました。月1回ですがどの回も内容が濃く素晴らしい経験をさせていただきました。先生方の声かけや支援もありすぐにも毎回来しみに参加していました。本当に貴重な活動経験ができたこと、アートが好きという同じ思いの子どもたちと出会えたこと、そして支えていただいた先生方に感謝です。私も一緒に参加し楽しい思い出ができました。本当にありがとうございました。

1年間を振り返って思ったことは、とてもいい思い出になったことです。いろんな人と話したり、作ったり、みんなで楽しくできました。これからもこの経験を生かしていきたいです。
中小路小学校5年：北見 音

自分で考え作ることとはとても楽しいことだと思いました。とても楽しく参加できたと思います。

今年の1年間は野球や敬老会があつてなかなか参加できませんでした。やっぱり家でやるより、みんなとやったほうがアイデアが出て楽しかったです。
助川小学校4年：江淵

展示会の展示では大人中心だったので、子どもが主体的に取り組める展示方法の工夫が必要かなと思いました。お休ませてできなかった体験を後日実施させていただけたのはありがたかったです。今年度も大変お世話になりました。

休んでしまった月もありましたが、楽しく活動できて良かったです。プロの画家さんなども来てくださったので、入ってみるものだなと思いました。
助川小学校4年：金田

本人がとても楽しく活動ができたようです。ご指導ありがとうございました。補講までしていただいております。

Tシャツを作ってみて楽しくて、そしてかざってみてもとてもすてきでした。なぜすてきに見えるのかは、がんばってかざったからだだと思います。なので、手伝ってなければとても気づかないと思います。
大久保小学校4年：藤田

毎回感想発表があり、短時間でまとめる力が自然と身に付いてきて、学校生活でも生かせるのでとても助かりました。

日立アートわくわく少年団では、いろいろな作品を作ることができて良かったです。有名な先生に教えてもらえてとても勉強になりました。4年生になってもつづきたいです。
中小路小学校3年：北見

楽しく参加できたと思います。作ることはとても楽しいと本人もわくわくしながら参加しました。



少年団で一番楽しかった活動は、7月のミウラナオコさんの活動です。作った作品はとてもお気に入りです。かざる時も楽しかったです。Tシャツと風のかざりかたがいいなと思いました。今までに教わった先生方の作品も見られてよかったです。来年も続けたいです。
大沼小学校4年：宗方

毎回なかなか体験できないことができ、見学している保護者も楽しいです。「みる」の活動が楽しいです。幼児連れ(妹たち)でも参加させていただきありがとうございました。

